

「2009年春季応用物理学関係連合講演会」企画に当たって

応用物理学会講演会企画運営委員長

鈴木 実

筑波大学で開催される2009年春季第56回応用物理学関係連合講演会では、一般講演3,676題、39テーマのシンポジウムなどの招待講演を含むと4,461題の発表が、46の口頭講演会場とポスター講演会場(第1体育館)で行われます。昨年、放射線・プラズマが放射線とプラズマエレクトロニクスに分離し、新たにスピントロニクス・マグネティックスの分科が合同セッションから大分類分科に昇格しました。これにより合計17の大分類分科と2つの合同セッションで一般講演が行われます。合同セッションKは今回から「ワイドギャップ酸化半導体材料・デバイス」とセッション名が変わります。活性化する研究に合わせて、より広範なセッション名のもとに進展する研究を統合していきたいと思っております。他にも、これまでと同様に、半導体、光、量子エレクトロニクス、超伝導、有機分子・バイオエレクトロニクス、薄膜・表面、結晶工学、量子エレクトロニクス、放射線、プラズマエレクトロニクス、など、応用物理学に関連する多くの分科で新しい先端的な研究成果の発表が行われます。

最近の応用物理学会講演会の特徴は優れた企画のシンポジウムが多いことです。これは、近年、講演会参加者数が増える傾向にある理由にもなっております。今回の講演会ではシンポジウム企画が39件あります。この件数は過去最高でこれまでにない充実したシンポジウム講演が期待されます。中でも、英語講演によるシンポジウム「光学の未来を拓く-Frontier and New Prospects in Optical Science-」ではノーベル物理学賞受賞者のHall博士や「アト秒科学の父」と言われるCorkum博士が講演されます。このシンポジウムは2日間に亘って開催されます。また、開催校の筑波大学がある筑波研究学園都市には多くの研究機関があり、その研究アクティビティが現地実行委員会の企画する特別講演会「応用物理学との接点を求めて」で紹介されます。このシンポジウムは応用物理学を囲む広い分野からの提言となりこれまでにない新しい試みです。この企画に合わせて、つくばの研究機関へのラボツアーも用意されており、研究機関内部の見学ができます。

人材育成・男女共同参画委員会・日本光学会光設計研究グループ協力、教育公益事業委員会企画のスクール「会社に入る前に身につけておいてほしいこと-企業における技術者像-」では学生会員にとって将来の進路やキャリアプランを考える上で参考になる情報が提供されます。さらに分科会主催のスクールとして、「安価、簡単、便利~大気圧プラズマの基礎と応用~」と「液相成長に学ぶ結晶育成技術の最前線」が開催されます。

また、人材育成・男女共同参画委員会企画によるキャリア支援のための求人側企業による「博士のキャリア相談会」が前回に引き続き開催されます。展示会会場では無線LANの提供、コーヒー無料サービスなどがあります。また、展示業者による製品説明ブースとワークショップが実施され、講演会場における壁紙広告などが実施の予定です。今回特に試行することとして、これまで胸ポケットに差していたネームプレート希望者の多い首掛け方式にします。託児室の設置も継続します。応用物理学会が筑波研究学園都市で初めて開催する今度の講演会も、参加者にとって有意義で充実した学術講演会になるよう願っております。

最後になりましたが、講演会場をご提供いただいた筑波大学、ならびに現地実行委員としてご協力頂いた関係者の先生方に深く感謝いたします。

-春季講演会トピックス-

◇ 第9回応用物理学会業績賞(研究業績)受賞記念講演(詳細:p.3参照)

- ・2009年3月30日(月)13:00-13:50 ZB会場(第三エリア総合研究棟B 1F-総合B0110)
業績の名称:半導体量子ナノ構造デバイスに関する先駆的研究
榊 裕之(豊田工業大学副学長・教授、東京大学名誉教授)
- ・2009年3月31日(火)10:15-11:05 L会場(第三エリアA棟 4F-3A402)
業績の名称:室温トンネル磁気抵抗素子の先駆的研究
宮崎照宣(東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授)

◇ 第10回光・量子エレクトロニクス業績賞(宅間宏賞)受賞記念講演

- ・2009年3月31日(火)9:10-9:45 ZM会場(第一エリア共同利用棟 1F-共A101)
業績の名称:コヒーレント短波長光生成に関する先駆的研究とアト秒非線形光学への展開
渡部俊太郎(東京大学物性研究所教授)
- ・2009年3月31日(火)13:45-14:20 B会場(第三エリアA棟 2F-3A203)
業績の名称:超高速光エレクトロニクスに関する先駆的研究と長年にわたる唱導
神谷武志(東京大学名誉教授、
独立行政法人情報通信研究機構プログラムコーディネーター)

◇ 第6回光・電子集積技術業績賞(林厳雄賞)受賞記念講演

- 2009年3月30日(月)13:30-14:05 ZL会場(第三エリア総合研究棟A 1F-総合A110)
業績の名称:光・電子技術の融合化による高性能イメージングデバイスの開発と実用化
太田 淳(奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科教授)

◇ 応用物理学会特別講演会(詳細:p.14参照)

- 2009年3月31日(火)13:00-17:10 M会場(第三エリアA棟 4F-3A403)
「応用物理学との接点を求めて」

◇ 人材育成・男女共同参画特別シンポジウム(詳細:p.15参照)

- 2009年3月31日(火)13:00-17:10 A会場(第三エリアA棟 2F-3A202)
「イノベーション研究推進のための人材育成」

◇ 博士のキャリア相談会(詳細:p.16参照)

- 2009年4月1日(水)14:00-18:00 (第三エリア総合研究棟B 4F)

◇ APEX/JJAPフレンドシップミーティング(詳細:p.17参照)

- 2009年4月1日(水)13:00-16:00 ZE会場(第二エリアB棟 4F-2B411)
「質の高い英語論文を書くために-論文の品格・査読の品格-」

◇ 第44回応用物理学会スクール(詳細:p.18 - p.20参照)

- ・2009年3月30日(月)13:00-17:15 M会場(第三エリアA棟 4F-3A403)
「会社に入る前に身につけておいてほしいこと-企業における技術者像-」
- ・2009年3月30日(月)9:30-17:05TG会場(大学会館A棟 3F-ホール)
「液晶成長に学ぶ結晶成長技術の最前線」
- ・2009年4月1日(水)9:00-16:50 M会場(第三エリアA棟 4F-3A403)
「安価、簡単、便利~大気圧プラズマの基礎と応用~」

(交通案内)

【講演会場(筑波大学)までのアクセス】

- 電車
・「秋葉原駅」→「つくば駅」つくばエクスプレス(TX)
快速:約45分
区間快速:約55分
普通:約65分 *時間帯により多少の差があります。
- バス
・「東京駅八重洲南口」→「つくばセンター」行きまたは「筑波大学中央」行き、「つくばセンター」まで約65分
・羽田空港(高速バス)→つくばセンター、約120分
・成田空港(高速バス)→つくばセンター、約100分
・「ひたち野うしく駅」東口→「筑波大学中央」行 約40-50分
・「荒川沖駅」西口→「筑波大学中央」行約30-40分
・「土浦駅」西口→「筑波大学中央」行約35-40分

(臨時バス乗り場案内図)



「つくば駅」から「講演会場受付前」まで臨時直通バスを運行します。時間は約10分です。運行時間はホームページにてご案内します。

■バスのりば

「TXつくば駅」A1出口を利用してください。駐車場沿いに約50mお進みください。陸橋の下がバス乗り場になります。

■バス料金

「TXつくば駅」~「筑波大学講演会場受付前」
片道260円
※つり銭のないようご注意ください。